

2 蔵書目録

県立図書館の全県的な図書館活動の一手段として蔵書目録の刊行を計画し、昭和28年から全蔵書の再整理をはじめた。まず、第1集は、最も地域的に関心の持たれる郷土資料篇を30年3月に刊行し、続いて別表の順にしたがって刊行してきた。本年度は、昨年度の芸術篇にあわせて刊行する予定であった語学部門1,700冊と、文学部門のうち総記関係1,000冊、それに昭和5年に寄贈され、まだその全容を紹介することのできなかった放江文庫830冊を付け加えた。

この第8集の刊行によって、当館に所蔵する資料のうち、日本文学、外国文学と、その後の増加分を除いた全資料を紹介することができたわけであるが、これによって、県内全地域にサービスする資料センターとしての役割と、全国の図書館間の相互貸借の実現に寄与することができれば幸いである。

今までに刊行した蔵書目録は、次のとおりである。

第1集	郷土資料蔵書目録		30年3月
第2集	蔵書目録	総記・哲学篇	31年3月
第3集	〃	歴史篇	33年3月
第4集	〃	社会科学篇	35年3月
第5集	〃	自然科学・工学篇	36年3月
第6集	〃	産業篇	37年2月
第7集	〃	芸術篇	38年3月
第8集	〃	語学篇・文学篇I	39年3月
第9集	〃	文学篇3-外国文学-	40年3月予定
第10集	〃	文学篇2-日本文学-	41年3月予定

3 佐藤文庫

郡山市の佐藤伝吉氏より寄託された佐藤文庫の整理は、昨年度に引き続いて、本年度も行なってきた。戦争及び軍事資料は、一部の困難な資料を除いてほとんどの資料の目録カードの作成と分類番号の決定を終り、太平洋戦争関係と戦争文学の資料の装備を残すのみとなった。これらの資料の39年3月末現在の主題別タイトル数は別表のとおりである。

一般資料については、目録カードの作成と分類を終り、記号の決定をまって装備をするまでにいった。

本年度はまだ整理の段階で、公開するまでにはいたっていないが、資料を一般に紹介する意味から、資料の一部の展示会を、読書週間の一行事として10月に当館と郡山市図書館において、それぞれ3日間開催した。

戦争軍事資料主題別タイトル数 昭和39年3月現在

主 題	タイトル数		
	和漢書	洋書	計
軍事理論, 国防思想	20	3	23
国防史, 伝記	202	138	340

参考書, 論文集, 逐次刊行物	46	7	53
団体, 軍人教育, 軍人生活	21	2	23
国防政策, 軍事行政	62	7	69
戦史(総記)	10	1	11
日本の戦史 (通史, 古代-西南戦争)	387	3	390
日清戦争	251	30	281
日露戦争	494	292	786
日独戦争, シベリア出兵	36	3	39
満州・上海事変	77	14	91
支那事変, 太平洋戦争	621	65	686
外国の戦史(通史, 各国の戦史)	128	83	211
第一次世界戦争	64	269	333
第二次世界戦争	78	48	126
戦争, 戦略, 戦術	65	41	106
古代兵法	194	5	199
軍事医学	3	2	5
軍事施設, 軍需品, 兵器	63	23	86
陸軍, 海軍, 空軍	202	101	303
戦争文学	483	65	548
	3,507	1,202	4,709

4 研究集会の開催

整理事務は、資料の増加と係員の制約、事務の複雑性などから、円滑に行なわれているとは言えない現状であり、当然やらねばならない仕事にも手が回らないために、図書館活動に支障をきたしているとも考えられる。このため整理事務の能率化、簡素化を検討して、図書館活動の充実をはかる目的から、12月5日、6日の2日間当館において研究集会を開催した。

研究題目

整理事務の能率化

第1部 職員組織とその運営を中心として……道県立図書館

第2部 奉仕業務の立場からする再検討……市町村立図書館・公民館

参加者

北日本地区道県立及び市町村立図書館職員32名、県内市立図書館及び公民館職員16名